



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <http://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 魚澤 誠治

TEL 079-281-5151

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	8,505	△4.1	583	△22.4	587	△21.6	365	△16.7
2018年12月期第1四半期	8,867	△1.7	751	△10.7	749	△10.8	438	△14.4

(注)包括利益 2019年12月期第1四半期 415百万円 (△13.3%) 2018年12月期第1四半期 479百万円 (△13.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	334.47	—
2018年12月期第1四半期	401.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	30,892	13,771	39.1
2018年12月期	29,085	13,410	40.4

(参考)自己資本 2019年12月期第1四半期 12,083百万円 2018年12月期 11,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	8.3	550	△15.7	550	△14.9	330	△7.4	301.85
通期	30,000	1.8	1,000	△24.2	1,000	△22.6	630	△11.6	576.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	1,153,263 株	2018年12月期	1,153,263 株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	60,018 株	2018年12月期	60,018 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	1,093,245 株	2018年12月期1Q	1,093,285 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな景気回復が続く一方で、世界各国における経済の減速感が高まり、先行きが不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましては、政府の着実な経済対策実施により、穏やかな景気回復は継続しているものの、人材不足による労務費の高騰などは改善されておらず、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新規顧客の獲得や商圏の開拓を行い、受注拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、設備事業セグメントにおいて大型工事が完成した影響から前期と比較して売上高は増加しましたが、建設事業セグメントにおいて工事完成物件が少なかったことから、売上高は前年同期比4.1%減の8,505百万円となりました。

利益につきましては、売上高の減少に加えて、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて人件費や販売促進費の増加により販売費及び一般管理費が増加した影響から、営業利益は前年同期比22.4%減の583百万円、経常利益は前年同期比21.6%減の587百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比16.7%減の365百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

## &lt;建設事業&gt;

建設事業セグメントに関しましては、当社の建設工事において前年同期に複数の大型工事の完成があった影響から、売上高は前年同期比11.4%減の3,144百万円となりました。また、売上高の減少に加えて材料費及び労務費の高騰により、営業利益は前年同期比21.9%減の281百万円となりました。

## &lt;設備事業&gt;

設備事業セグメントに関しましては、当社の設備工事において大型物件の工事完成があったことから、売上高は前年同期比35.3%増の1,153百万円、営業利益は前年同期比44.6%増の72百万円となりました。

## &lt;住宅事業&gt;

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において、施工業者の不足等により売上棟数が減少した影響から、売上高は前年同期比7.5%減の3,611百万円となりました。また、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて、人件費や販売促進費の増加により販売費及び一般管理費が増加した影響から、営業利益は前年同期比55.4%減の66百万円となりました。

## &lt;不動産賃貸事業&gt;

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、連結子会社である株式会社リブライフにおいて、前年同期と比較して仲介手数料売上が増加した影響等から、売上高は前年同期比11.2%増の436百万円となりましたが、連結子会社である株式会社リブライフにおいて人件費の増加等により、営業利益は前年同期比12.2%減の116百万円となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業セグメントに関しましては、売上高はほぼ横這いで推移し前年同期比5.0%減の158百万円となりました。営業利益につきましては、連結子会社である株式会社リブライフにおいて人件費が増加した影響等から、前年同期比21.0%減の44百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、工事完成の影響から受取手形・完成工事未収入金等が増加したこと等により、30,892百万円（前連結会計年度末は29,085百万円）となりました。

負債につきましては、工事代金の支払により短期借入金が増加した影響等から、17,120百万円（前連結会計年度末は15,675百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により13,771百万円（前連結会計年度末は13,410百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績につきましては、2019年2月13日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,824,845	2,836,382
受取手形・完成工事未収入金等	4,112,657	4,966,223
たな卸資産	5,678,470	5,404,831
預け金	150,818	283,283
その他	456,077	425,066
貸倒引当金	△2,784	△3,466
流動資産合計	12,220,084	13,912,320
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	3,863,300	3,834,994
機械・運搬具(純額)	884,466	856,824
工具器具・備品(純額)	708,765	710,715
土地	9,608,112	9,772,255
リース資産(純額)	120,633	162,620
建設仮勘定	56,121	12,048
有形固定資産合計	15,241,399	15,349,459
無形固定資産		
のれん	80,000	70,000
その他	36,496	31,077
無形固定資産合計	116,496	101,077
投資その他の資産		
投資有価証券	564,545	595,390
繰延税金資産	454,067	445,102
その他	536,457	535,969
貸倒引当金	△47,396	△47,195
投資その他の資産合計	1,507,674	1,529,266
固定資産合計	16,865,570	16,979,804
資産合計	29,085,654	30,892,124

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,312,217	2,172,145
短期借入金	2,800,000	4,245,000
1年内返済予定の長期借入金	1,037,012	1,007,012
リース債務	83,100	82,975
未払法人税等	151,206	178,757
未成工事受入金	2,245,597	2,243,670
賞与引当金	141,912	396,002
役員賞与引当金	16,000	—
完成工事補償引当金	165,354	165,208
工事損失引当金	31,343	9,700
資産除去債務	42,496	44,998
その他	825,388	820,810
流動負債合計	9,851,628	11,366,282
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	4,238,878	4,136,625
リース債務	62,302	97,208
退職給付に係る負債	490,441	490,896
役員退職慰労引当金	79,656	76,088
資産除去債務	245,109	246,132
その他	407,325	407,293
固定負債合計	5,823,713	5,754,244
負債合計	15,675,342	17,120,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	10,349,090	10,660,086
自己株式	△110,121	△110,121
株主資本合計	11,709,608	12,020,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,427	71,391
退職給付に係る調整累計額	△8,297	△8,047
その他の包括利益累計額合計	46,129	63,343
非支配株主持分	1,654,573	1,687,649
純資産合計	13,410,312	13,771,597
負債純資産合計	29,085,654	30,892,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,867,824	8,505,268
売上原価	6,911,048	6,525,815
売上総利益	1,956,775	1,979,453
販売費及び一般管理費	1,205,445	1,396,422
営業利益	751,330	583,031
営業外収益		
受取利息	2,642	3,036
受取配当金	619	—
持分法による投資利益	5,316	6,186
その他	3,876	8,623
営業外収益合計	12,455	17,846
営業外費用		
支払利息	11,269	9,061
社債利息	82	82
その他	2,778	3,735
営業外費用合計	14,129	12,879
経常利益	749,655	587,998
特別利益		
固定資産売却益	2,809	—
特別利益合計	2,809	—
特別損失		
固定資産除却損	28,120	0
特別損失合計	28,120	0
税金等調整前四半期純利益	724,345	587,998
法人税等	235,786	189,263
四半期純利益	488,559	398,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,580	33,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,979	365,658



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	488,559	398,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,352	16,963
退職給付に係る調整額	331	249
その他の包括利益合計	△9,020	17,213
四半期包括利益	479,538	415,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,958	382,872
非支配株主に係る四半期包括利益	49,580	33,075

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。